

## 奈女子の滝

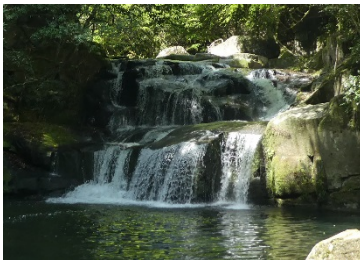
中津市長 奥塚 正典

5月の連休中、深耶馬溪の折戸を訪ねました。目的は折戸川上流にある「奈女子の滝」。たどり着くのに道らしき道なし、川辺を歩くのは無理、そそり立つ岩場に沿って進む、一人で行くのは絶対危険との情報です。山に詳しい案内人もここは初めてで安全に心配ります。地元の人たちもその存在は知っているものの、行ったことのある人は少なく、2月に有志の人たちがなただで草木を払いながら進んだそうです。

彼らを通ったと思われる跡を頼りに、倒木を越えたり潜ったり、今にも頭上から落ちそうな岩を見上げ、岩と岩のわずかの隙間も抜けながら進みます。新緑の木々、下方に見える清流、大きな蔓、名前を知らない可憐な花を見ながらウグイスの鳴き声を聞き、1時間近く急峻な斜面を歩くと階段状に幾筋もの水が流れる「幻の滝」が現れるのです。

割れ目のある岩場に囲まれた滝壺は美しい水にあふれています。水辺の岩に腰を下ろし周りを見回すと、日の当たる岩肌とは対照的に日陰の岩場は緑色に映り、流れが打ち寄せる小さな岩淵のほの暗さは怖いぐらいに神秘的です。マイナスイオンいっぱい自然の癒し空間に憩い、またしても山間に知られざる中津発見です。

たどり着くまでのわくわく感、湿った急斜面や苔むした石に足を取られ滑り落ちそうになる素人登山の緊張感と疲労は、滝出現の喜びと満足感に替わります。その上に案内人の沸かす金柑入りはちみつ紅茶は格別の味、うれしいおまけです。



奈女子の滝

5月初旬の折戸は田植えの真っ最中。温泉のある登り口で地元の人から励まされ出発、怪我なく無事帰ってきた我々によかったとの声、相当心配していただいた様子がうかがえました。のどかな山里風景を望み昼食、温かな人情に触れ感謝。日々の喧騒を忘れさせてくれるのびやかな一日を過ごしました。中津は本当にいい所じゃね。